

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和17年～	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	04 安全で安心に暮らせるまちづくり
	小項目	施策	03 安全・安心な環境の高揚
事務事業名		02 防犯施設整備事業	問合先 担当課(室) 市民課 職・氏名 生活安全係長 初治 慎一 電話 0869-64-1876

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	日生地内の防犯灯及び国道2号線の水銀灯
目的(何のために)	犯罪の発生を抑制するために設置した防犯灯などの維持管理をする。
行政活動(どのような方法で)	防犯灯の電気料金の支払い事務及び球切れ等の修繕、国道2号線の歩道整備に伴う水銀灯の撤去工事をする。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	防犯灯の維持・管理には相当な経費を必要とすることから、市と地域の役割分担を構築する。

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	電気料金支払灯数	基	183	182	182

実績	直接事業費	千円	2,492	1,864	2,385
	必要人員(人件費)		0.18人	0.17人	0.12人
事業費	事業費計		3,969	3,151	3,497

結果指標①	結果指標量	基	183	182	182
	対前年比	%	-	99.5%	100.0%
結果指標②	活動コスト	円	2,748,943	3,151,664	2,611,657
	単位当たりコスト		15,022	17,317	14,350

事業の成果						
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値	
	目標値(A)	100	100	100	50	
電気料金支払灯数	実績値(B)	183	182	182	到達目標年度	
	達成率(B/A)	183.00	182.00	182.00	23年度	
	成果指標設定の考え方・式や説明					
市が電気料金を支払っている防犯灯の数						

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
市の関与の妥当性	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性理由・課題認識 現状で、防犯等の維持管理を取り止めることは、市民の理解が得られていない。しかし、市が電気料金を支払っている防犯灯については、一部の地区に限られており見直しが必要と考える。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> C 判定理由・課題認識 事業費は、電気代・修繕料・人件費が主であるため、現状のままでのコスト削減は困難である。しかし、市が電気料金を支払っている防犯灯が老朽により使用に耐えなくなった場合には、市と地域の役割分担の中で、新設・修繕・撤去を考えながらコスト削減に努める。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> B 判定理由・課題認識 成果指標の向上が見込めるものの、犯罪発生抑制力を低下させない役割分担の構築が重要である。

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	182	結果指標量②		成果指標量	50
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	中国電力と協議し、防犯灯の設置箇所の図面の一部提供を受けている。今年度で現地調査を実施し、市と地域の役割分担を構築する。					

総合評価	
犯罪発生を未然に防ぐために、市の対策として防犯施設の整備は重要であるが、特に防犯灯については、市と地域の役割分担を構築し、地域の自主管理の推進による効率化を図る必要がある。	評価区分<A~E> C

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	今年度には、市と地域の役割分担を構築する。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
	妥当性	市と地域の役割分担を構築する。	平成22年～	市管理の防犯灯数の削減。		